

山菜採りシーズンには多くの遭難事故が発生しています



遭難事故ゼロを目指そう！

- **家族などに行動予定を知らせる**
行き先、帰宅予定時間、車の駐車予定場所などを家族や知人に知らせましょう。
- **単独で入山しない**
1人では事故に遭っても助けを求める事ができません。複数で出かけましょう。
- **無理な行動計画は立てない**
山の天気は急変することがあります。気象条件や体力、経験などに応じ余裕をもった計画を立てましょう。
- **目先の収穫より安全第一**
遭難者のほとんどは山菜採りに夢中になり迷っています。ときどき仲間と声をかけあったり、自分のいる場所を確認しましょう。

例年、県内では山岳遭難が多く発生しています。本市の場合はその多くが春の山菜採りシーズンと秋のきのこ採りシーズンに集中し、平成21年に十和田警察署管内では13件（遭難者17人）の山岳遭難が発生しています。遭難はわずかな不注意や安易な行動がもとで発生します。未然に防止するため次の事に注意しましょう。

山岳遭難事故の主な原因は山菜採り

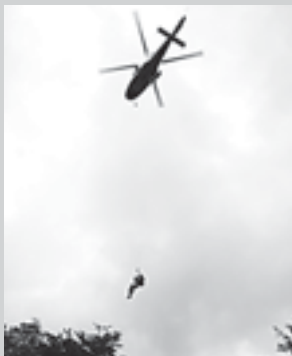


とき	ところ	内容
① 6月4日	青樫山山中	たけのこ採り 男性1人
② 6月20日	猿倉温泉登山道	たけのこ採り 男性1人
③ 8月29日	谷地温泉北東山中	きのこ採り 女性1人
④ 9月4日	雲井林道山中	きのこ採り 女性1人
⑤ 9月17日	谷地温泉登山道	登山 男性1人
⑥ 9月18日	谷地温泉登山道	登山 男性1人
⑦ 9月19日	大幌内牧場山中	きのこ採り 男性1人
⑧ 9月22日	谷地温泉南方山中	きのこ採り 男女各1人
⑨ 9月23日	仙人橋付近山中	きのこ採り 男性1人
⑩ 9月28日	大幌内牧場山中	きのこ採り 男性1人
⑪ 10月2日	大幌内牧場山中	きのこ採り 女性3人
⑫ 10月11日	十和田湖御倉半島山中	きのこ採り 男性1人
⑬ 10月22日	松見の滝付近	きのこ採り 男性2人

- **万々に備えて**
入山のときは次の物を用意しましょう。
携帯電話、方位磁石、地図、熊よけの鈴、携帯ラジオ、雨具、葉、非常食、ライター、鏡、笛、発炎筒など
- **もしも道に迷ったら**
携帯電話などで速やかに連絡しましょう。携帯電話の通報により、早期に救助される事例が多数あります。
- ▼ **むやみに歩き回らないように**
しましょう。特に夜間は周囲が見えないため事故に遭いやすくなります。
- ▼ **ヘリコプターの音が聞こえたら**



捜索には、消防団員や警察署員など関係機関のかたが多数出動します



県防災ヘリ「しらかみ」による救助訓練

平成22年度青森県水防演習開催のお知らせ
水防演習は、6月からの出水期に備えて、水防技術の向上や水防体制の強化などを図ることを目的に毎年実施しています。
訓練では、水防活動の実態に即した形で、県や市町村、消防関係、町内会などの関係機関が相互の連携をとりながら実施します。
とき 6月7日(月) 午後1時～4時
ところ おいらせ町向川原地内(奥入瀬川下田橋下流河川敷サーモンパーク)
主な訓練内容
▼ 水防工法訓練
土のう積み工やシート張工などで、河川などの被害拡大防止訓練
▼ 水難救助救護訓練
県防災ヘリコプターにより川の中洲にとり残された人の救助訓練
▼ 油流出防止訓練
オイルフェンスや吸着マットを使用した油類の流出拡大防止訓練
▼ 簡易水防体験訓練
ごみ袋やダンボールなどを利用した宅内への水の侵入防止訓練